

金沢の学生さん 18 人とともに、能登半島地震からの復旧・復興の現状を見る巡検で、「のと里山ポケモン・ウィズ・ユース空港」に立ち寄りました。2024 年元日の地震では滑走路などが大きな被害を受けましたが、驚異的な早さで再開。救援活動の拠点として応急復旧され、同年 1 月 27 日には民間航空便が再開しました。その後、羽田便も震災前と同じ 1 日 2 往復に戻り、能登復興の空の玄関口として重要な役割を担っています。

そして 2026 年 7 月、空港は期間限定で「のと里山ポケモン・ウィズ・ユース空港」に変身しました。写真の吹き抜けには、飛行機に乗った巨大なピカチュウが浮かび、青空を思わせる壁面には、ひこうタイプを中心にたくさんのポケモンが勢ぞろい。まさに名前の通り「ポケモンだらけ」で、空港そのものが楽しい観光スポットになっています。ポケモン効果もあって羽田便の搭乗率が上昇し、飛行機に乗らない見学者も訪れ、オリジナルグッズやミールの販売などで賑わいを見せていました。

さらに館内展望デッキ前には誰でも弾ける「空港ピアノ」があり、学生さんたちから「先生、弾いてください！」との声。ちょうど羽田行最終便が飛び立つところだったので、私は「翼をください」を演奏しました。「この大空に翼をひろげ、飛んで行きたいよ」という歌が、震災から再び飛び立とうとする能登と、飛行機やポケモンに囲まれた空港の雰囲気不思議なほど重なります。学生さんたちとの巡検の途中で生まれた、思いがけない楽しいひととき。復興への歩みを学ぶだけでなく、みんなの心に残る良い思い出にもなりました。

(2026 年 8 月上旬／石川県輪島市・穴水町)

